

R3 スクールマネジメント実践報告書

11 高志小学校

地域とともにある学校づくり

小中一貫教育の実践（教育活動の方向性）

中学校区の目指す子ども像	夢・志をもち、自ら選択した進路・生き方の実現に挑戦する子ども
我が校の目指す子ども像	喜んで登校し、生き生きと学ぶ子ども



小中一貫教育の具体的な取組	
我が校の取組	中学校区の取組
<p>【学び部会】【すこやか部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びのスタンダードの見直し。 ・「家庭学習強調週間」と生活習慣を見直す「さわやか高志ウィーク」の一体的な取組。 <p>【かかわり部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ見逃しゼロスクール集会に向けた全学級での「ハッピーツリープロジェクト」や全校 SSE の実施。 	<p>【学び部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業スタンダードや家庭学習スタンダードを、9年間を見据えて作成。 ・家庭学習の定着を目指して、校区で一斉に取組を行う。 ・NRT等を用いた学力実態の分析。 <p>【かかわり部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ見逃しゼロスクール集会の企画 <p>【すこやか部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年2回、生活リズム改善週間の実施
成果○と課題■	成果○と課題■
<p>○家庭学習と生活習慣を見直す機会を同時に設定したことで、相乗効果をもたらしたとともに、保護者への協力も得られやすくなった。</p> <p>■いじめ強調月間だけではなく、温かい人間関係づくりを意識した継続的な取組が必要である。</p>	<p>○授業のルールや家庭学習において、中1ギャップを感じる生徒が少なく、スムーズに中学校生活をスタートすることができている。</p> <p>■感染症対策として、ここ2年間は中学校区での教科部会が行われていない。来年は工夫して実施したい。</p>

〈夢・志チャレンジスクール事業の取組（地域とともにある学校づくり実践）〉

取組の概要	主な活動内容	
生活科や総合的な学習の時間を中核に、地域の自然（森や川）にふれたり、地域の人（田圃や畑の先生）とかかわったりする活動を主に展開した。地域の「人・もの・こと」と直接かかわることを通して、地域への関心を高めるとともに、主体的に課題解決しようとする子ども姿が多く見られるようになった。	生活科	どきどき わくわく！ すみれのうえん（2年）
	総合	すずらん*高志のよさ発見！ アピールプロジェクト（3年）
	総合	知りたい！食べたい！伝えたい！ 「なでしこ米の七変化」（5年）
学校運営協議会の評価 コロナ禍の影響で、外部関係者との接触や校外での活動に制限があり苦労も多かったが、その中でも各学年で工夫しながら実践していたように思う。これからも地域との連携を大事にし、地域のよさが実感できる活動を期待している。	夢・志チャレンジスクール事業の取組は、目指す子ども像の実現に有効であった	
	○	当てはまる
		どちらかという当てはまる
		どちらかという当てはまらない
		当てはまらない

R3 スクールマネジメント実践報告書

学校運営協議会の活動内容

学校運営協議会の委員の構成									
教職員	3人	保護者	2人	住 民	6人	その他	0人	合計	11人
学校運営協議会の回数 ※()は、回数内における紙面協議回数	学校単独	1学期	1回 (0)	2学期	1回 (0)	3学期	1回 (0)	合計3回 (0)	
	中学校区合同 ※中学校区で同数にする	1学期	0回 (0)	2学期	1回 (0)	3学期	0回 (0)	合計1回 (0)	

活動の内容	成果○と課題■
<ul style="list-style-type: none"> 各学年の生活科や総合的な学習の時間の年間構想に対し、委員から意見やアドバイスをもらい、実践に生かした。 学校評価を基に、当校の「学び」「かかわり」「すこやか」の各プロジェクトの取組の成果と課題を検討し、次学期の活動につなげることができた。 後援会等と連携し、ボランティアによる校内の消毒活動を推進した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域を流れる正善寺川の昔の様子について委員から話をしていただき、子どもが川の歴史に興味を広げることができた。 ○地域の方や保護者が毎週定期的に校内消毒を実施し、職員の負担軽減につながった。 ○短時間ではあったが、2年ぶりに中学校区合同CSが開催できたことはよかった。 ■保護者や地域の方の活動を参観する機会減少に伴う、新たな交流の場の設定。

総 括
<p>コロナ禍の中、学校単独で3回、中学校区合同で1回、計4回の協議会を開催し、意見交換や情報交換ができたことは大きい。しかし、この2年間、学校行事等に地域の住民がほとんど参加できなかったこともあり、学校を核とした地域とのつながりといった面では課題は残る。新しい形の学校と地域の連携を模索していく必要がある。</p>

〈活動写真〉



○2年 生活科

学校の畑で育てた大根を収穫しました。味噌汁に入れたり、おでんにしたりとその後の活動への夢がふくらみました。



○3年 総合的な学習の時間

上越教育大学の敷地内にある「緑の小道」で基地づくりをしました。仲間と力を合わせて完成させました。



○5年 総合的な学習の時間

地域の方に教えてもらいながら、苗を手で丁寧に植えました。秋の稲刈り、収穫が楽しみです。